

十勝 Tokachi Shimizu 清水

最高のぜいたく、育てています。



2023年7月号
370号

目次

- 02. すこやかファミリー
玉井さんファミリー
- 03. JA十勝清水町 第45回 通常総会
- 06. JA女性部むらさき会 1泊2日研修旅行
- 07. JA女性部 1泊2日研修旅行
- 08. 第2回 清水町畑作レベルアップ研修会
- 09. JAそよかぜの会 町内ボランティア訪問
JA女性部フレッシュミズ部会夏期研修会
- 10. 清水町野菜振興会アスパラ部会から寄贈
- 12. 共栄火災から一般計部門で表彰状受賞
JA自動車共済損害調査サービス
事故受付満足度1位受賞
- 15. (株) 清水町農業サポートセンター



Agricultural Cooperative Association Magazine

自然と環境 人と人とのつながりを大切にしています。

 十勝清水町農業協同組合

6月8日、第45回通常総会が清水町中央公民館で開催されました。

事業報告として、生産コスト高、資材不足による農畜産物の生産は今までに類を見ない難局のなか、国産食料の安定供給に多大なる影響が出ることを懸念する状況で、酪農・畑作双方で農業情勢として苦境の年でありましたが、組合員皆様方の日頃の継続的な営農努力、強固な農業生産基盤、高い生産技術による安定した生産力により取扱高312億円、当期末処分剰余金260,713,026円となったことの説明が代表理事組合長よりあり、資料に基づき詳細の説明がなされました。

また令和5年度の事業方針について、地域農業振興計画J A中期5カ年計画を基に、求められる農協、次世代を見据えた農業基盤の確立、再生産性、持続性、次世代継承などに対して注視し農協経営を行なうべく、J A役員一同は、J Aグループ、各種関係機関、当J A各部会からご協力を賜りながら、組合員農業所得向上、消費者からの信頼、そして地域の皆様方のお役に立てるJ Aづくりを全力で推進して参りますので組合員各位のご理解とご協力を賜りますようお願いを申し上げます、事業計画の説明がなされました。

以下の各議案それぞれについて組合員より承認後、4点の報告事項について説明がなされました。

J A十勝清水町 第45回通常総会

とき：6月8日
ところ：清水町中央公民館



中熊牛3
たまいにこは
玉井 笑花ちゃん(2歳7ヶ月)
写真左から妃菜花さん、鉄生さん、笑花さん、紅花さん

すこやかファミリー

アンパンマンとお人形が好きな笑花ちゃん、最近、オムツがとれて、朝も夜もお姉ちゃんパンツになったそうです！

また、子育てについて伺ったところ「末っ子の笑花は、ちゃっかり、しっかりと逞しく育ってます!! (笑) くまのお人形が大好きで、どこへ行くにもいつも一緒！お世話をするのが好きで、牛舎の子猫も抱っこして面倒を見ています！気付いたら一人で出来ることやおしゃべりも増えていて、嬉しいけど寂しい気持ちは末っ子はより感じます！」と教えてくれました。

～お母さんからのメッセージ～

いつもニコニコ♡にこちゃん
にこはの笑顔はみんなを
笑顔にしてくれるよ！
これからますます元気(ー)っ、
笑花らしく育てる♡
ママとパパのところに産まれてきてくれてありがとう♡

- | | |
|--------|---------|
| おとうさん | 玉井 竜也さん |
| おかあさん | 里菜さん |
| おねえちゃん | 妃菜花さん |
| おねえちゃん | 紅花さん |
| おにいちゃん | 鉄生さん |
| おじいちゃん | 正司さん |
| おばあちゃん | 美和さん |

- 議長団退任の後、串田雅樹会長理事より閉会のあいさつとして提出全議案承認のお礼と併せて、一期三年間のJ A北海道中央会副会長としての任期を終え、次期役員へ引継ぎしていくことが伝えられ、最後に清水町議会山下 清美 議長の前頭で万歳三唱を唱和し総会を閉会いたしました。
- 決算報告
令和4年度貸借対照表、損益計算書、および注記表並びに会計監査人及び監事の監査報告について
議案第1号
令和4年度事業報告、剰余金処分案の承認について
議案第2号
令和5年度事業計画の設定について
議案第3号
賦課金の賦課及び徴収方法について
議案第4号
役員報酬の支給について
報告事項1
労働保険事務組合の
令和4年度徴収・納付状況の報告について
報告事項2
株式会社十勝清水フードサービス
第31期営業報告並びに
第32期営業計画の報告について
報告事項3
株式会社清水町農業サポートセンター
第23期営業報告並びに
第24期営業計画の報告について
報告事項4
J Aバンク基本方針の変更について

J A十勝清水町 地域別懇談会を 10会場で開催しました

とき：5月29日・31日・6月1日
ところ：各地域福祉館

5月29・31日、6月1日の3日間、J A十勝清水町地域別懇談会を各地域の福祉館で開催しました。

今回は、例年通り10会場を2班編成で各集団への訪問の形を取って行われました。

J Aからは、地域別懇談会議案(左)に沿って説明し、組合員の皆様からの質疑についても具体的に説明がなされました。

- J A十勝清水町 地域別懇談会
開催期日 令和5年5月29日(月) / 5月31日(水) / 6月1日(木)
- 開会挨拶
 - 議案
 - 第45回通常総会開催
 - 通常総会提出議案
 - 令和4年度未処分剰余金処分案に関して
 - 令和4年度決算
 - 令和5年度事業計画
 - 営農部 新規銘柄肥料(BBTSシリーズ)の紹介
 - 農産部 令和6年以降のてん菜移植コントラ畑作情勢
 - 畜産部 酪農情勢
 - 経済部 購買品情勢
 - 企画室 報告事項
 - その他



令和4年度 事業報告

■ 令和4年度 事業報告

昨年は、依然と完全収束しない新型コロナウイルス感染症でありましたが、新たな生活様式の中、経済活動も再開傾向にあり観光、インバウンド、外食産業も以前よりは回復が見え始めてきております。

しかし、私たち農業者・農業団体は、ロシア・ウクライナ戦争、円安、世界的流通の停滞、資源・資材の入手難による高騰、エネルギー高などにより、今までに類を見ない苦境に立たされました。生産コスト高、資材不足による農畜産物の生産は困難を極め、農業者の再生産可能で安定的農業経営の基に私たちが日頃食している食料があります。昨年は、引き続き先が見えず、農業者はこの異常な情勢下の中、自身の経営と向き合う一年となりました。持続可能性ある農業を実践するためには、系統組織一丸となり、農業政策に対する意見、支援を求め歴史的困難を乗り越えなければなりません。今の状況は、自らの努力で補える事にも限界があります。これ以上の状況が続けば、農業経営が脅かされ、国産食料の安定供給に多大なる影響が出ることを懸念を強く抱いた年でもありました。

昨年を振り返りますと、町内の生乳生産につきましても、全国的な飲用需給の低下により乳製品在庫が過去にない水準での在庫積み上げ状況もあり生乳生産の抑制を強いられ、更に、生産コスト上昇、初生牛暴落など年末収支の悪化、次期営農計画に不安を抱える状況となりました。このような農業経営が非常に難局を向かえている中で取り組んで

ただいたことに深く感謝申し上げる次第でございます。

乳価、加工原料乳生産者補給金、集送乳調整金の引き上げ決定はあるものの、農業生産費の高止まりからスタートすることにより、期中乳価引き上げ、高騰する農業生産資材費抑制及び固定費低下に期待するところでもあります。

個人販売につきましても、生産コストの高騰や生乳生産抑制など、酪農情勢の悪化を背景に回り頭数も増え販売価格は下落致しました。

肉用素牛についても飼料高騰が長引き、生産費上昇による肥育・素牛農家の導入控えにより販売価格は前年より大幅に下落。枝肉価格については、国の対策、全国旅行支援、外国人観光客の入国規制緩和によるインバウンド需要拡大等、食肉回復が期待致しましたが、外食需要も特段の回復はみられず、依然として消費状況は厳しい状況の1年でありました。

昨年が一番草は、4月の好天により降雨が少ない中で収量の心配もありましたが、5月末の降雨により例年並みの収量となり、二番草は8月下旬の雨天により収穫は遅れるものの例年並み、デントコーンについては、例年に比べやや背が低い圃場もありましたが収穫も順調に進み良質でありました。

続いて、農産関係ですが、春先は天候に恵まれ概ね農作業自体は順調に推移致しましたが、生育期の日照不足及び一時的な豪雨や長雨により降水量が平年より多く推移し不安定な天候の年となりました。9月以降の天候は平年並みとなり

ましたが、畑作物や野菜等では一部甚大な被害が発生し、生育状況は回復には至らず期待を下回る結果となりました。

農産物として、秋まき小麦につきましては播種作業は順調に進み出芽後の生育は十分に確保され根雪を迎えることができました。春先の降雪により起生期は平年より遅れましたが、茎数は多い状況で推移し、稈は平年より長く徒長傾向となりました。

てん菜につきましては、播種作業・移植定植作業は早く始まりましたが、4月27・28日にかけての強風により、一部再播種及び再移植となる被害が発生致しました。5月下旬～8月下旬までの降水量は平年を上回る状況が続く、平均気温も高めで推移したため根腐れ病や褐斑病が発生し、反収5.50t、糖分16.7%と平年を下回る糖収量となりました。

馬鈴しよにつきましては、植付作業は平年よりやや早く始まり萌芽期までは順調に生育致しましたが、萌芽期から開花期にかけて日照時間が少なく茎数は平年を下回っております。収穫物としては高いも数は多いものの1個重は小さくでん粉価はやや高い状況であります。8月以降の降雨の影響により腐敗が例年より多い状況である

令和5年度 事業方針

令和4年度の日本経済は、徐々に経済活動正常化・回復への動きが見え始める中、ロシアのウクライナ侵攻の影響、円安、世界的な食糧需要調達激化、流通混乱などにより私たちの農業、生活、経営に大きな影響を与え食料の安全保障が問われる年度となりました。

令和5年度においても日常的な経済動向及び世界情勢への注視、為替相場、流通、エネルギー資源問題・高騰問題、世界の農水産物流通、物価上昇など、非常に多くの不安を抱えての農業経営、農協経営を迫られております。世界経済、日本経済が総体的に回復の方向へ進み少しでも情勢が良くなることを切に願うものであります。

農業を取り巻く環境としては、前述した情勢への危機感を抱いた中での農業、農業経営が、この予測できない時代にどのように対応すべきかを考えていかなければなりません。そのためには、中長期的な日本農業の在り方、私たちの食を支える農業を持続可能な産業とするため、国内生産及び国内需要を増大させ食料安全保障の強化、食料・農業・地域農業政策の確立が必要と考えております。

生産にかかるとの肥料、農薬、飼料、燃料、一般生産資材品などの農業生産資材高騰・高止まりの継続、需給バランスの悪化の生産抑制は、経営コストの増加、所得減少から農業経営の維持問題に発展し、食料安全保障上のリスクである食料安定供給基盤の弱体化を招くこととなります。国策として支援・対策、需給改善対策はあるものの現場の安定経営には未だ及んでいないのが現実であり、更なる生産現場に即した支援・対策等が必要であると考えます。当JAとしては、JAグループの一員として共にこの難局を乗り越え未来ある農業を確立するため要望して参ります。

当JAとしては、令和3年策定の地域農業振興計画JA中期5カ年計画を基に実践してまいります。急変する農業情勢を把握し、真に必要な軌道

り、馬鈴しよ全体としては平年を下回る収量となりました。

豆類につきましては、好天により播種作業は順調に進み出芽も良好となりました。出芽後も気温・日照時間に恵まれ生育は順調に進み、開花期は平年より早まったため着莢数も平年よりやや多い状況となりました。収穫は大豆が平年より早く、小豆は平年並みのスタートとなりましたが、品位は大豆、小豆、金時ともに若干の小粒傾向となり大豆及び小豆の反収については平年をやや下回る収量となりました。

アスパラガスは、4月の適度な降雨と気候条件に恵まれ例年より早い収穫となりましたが、4月下旬の強風、遅霜の影響で出始めの太物が被害を受けました。その後は例年並みとなりましたがM・S規格の出荷比率が多かったため、販売単価はグリーンで1,376円/kg(前年比▲209円)となりました。ブロッコリーにつきましては、シーズンを通して昨年より平均単価は高かったものの、長雨の影響により花蕾腐敗や黒すす病の発生、肥料流亡による生育不良により出荷量は293t(前年比80%)と減少し、販売高は昨年を大きく下回りました。白菜につきましても長雨の影響により、芯腐れの発生や肥料流亡による生育不良、一部圃場では灌水による廃耕等の被害が発生し、出荷量は1,747t(前年比90%)となりましたが、白菜とブロッコリーの販売高は1億円台を維持する事が出来ました。

修正等の判断をしていかなければなりません。そのような中でも、引き続き、基本的事項である対話を重視し求められる農協、次世代を見据えた農業基盤の確立、再生産性、持続性、次世代継承などに対して重要事項として考え農協経営を行なって参ります。

農協は、農業が幹産業である地域に対して担う役割は大きく、地域に根ざした農協がその期待に応えていくためには、農協組織として中長期的視野のもと農業を通じて目指すべき姿を実現しなければなりません。更に、国内外需要を見据えたブランド力強化、販売力強化を地域活性化含めた中で農協が牽引し取り組んでいくことが、地域振興を推進するものと考えております。

これらを基本に農協各部署が明確な課題を掲げ、今の情勢による諸問題を的確に把握し今後どのようなことに取り組まなければならないかを考えて参ります。部門間連携を重視した組織体制充実化による組合員皆様方への対応力強化、販売力強化、効率的な業務遂行、新たな可能性模索など前進した取り組みを実施して参ります。

時代背景、情報集約力、先進事例、多様なニーズなどにより協同組合の果たすべき役割を再考し、原点である相互扶助の継承、組織力、事業集結力を表現させるため、対話を通じた信頼関係により将来強固な農業協同組合を構築すべく積極的な活動を展開して参ります。

JA役員一同は、JAグループ、各種関係機関、当JA各部署からご協力を賜りながら組合員農業所得向上、消費者からの信頼、そして地域の皆様方のお役に立てるJAづくりを全力で推進して参りますので組合員各位のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。以上、ここにJA十勝清水町の令和5年度事業方針とさせていただきます。

十勝清水

にんにくは、昨年同様に冬期間の積雪がほとんどなかったことから、凍害による枯死株や生育不良株の発生により反収は昨年を下回りましたが、作付面積の増加及びL・M規格が多かったことにより入荷量は前年比125%となりました。

令和4年度は、農業情勢として苦境の年でありましたが、組合員皆様方の日頃の継続的な営農努力、強固な農業生産基盤、高い生産技術による安定した生産力により取扱高31.2億円となり、当期末処分剰余金は260,713,026円となりました。

農業生産資材高騰・高止まりが続く農業情勢の中、再生産可能な農業経営の維持が問われ、特に令和5年度は、その高止まり状態からの営農開始となり依然厳しい状況が予想されます。

ここで、当JAとしては、当期末処分剰余金の処分(案)については、令和4年度の事業結果より農業情勢を鑑みて組合員の再生産可能な農業経営確立に資する処分内容としてご提案させていただきます。

ひとえに組合員皆様方、各都会、女性部、青年部、各団体、更に清水町農業に關係する関係機関、地元企業の農協事業に対する深いご理解とご協力の賜物であると心より感謝とお礼を申し上げます。これからも組合員と地域の皆様方に信頼され選ばれるJAづくりを役員一同丸となって取り組んで参ります。

以上、ここにJA十勝清水町の令和4年度事業概要をご報告申し上げます。



J A 女性部むらさき会 1泊2日研修旅行

とき：6月15～16日
ところ：札幌・北広島方面

J A 女性部むらさき会（広井香代子会長）は、6月15日から1泊2日の日程で札幌・北広島方面への研修旅行を行い、同会員17名が参加しました。

1日目は、劇団四季『リトルマーメイド』を観劇しました。公演が終わると、会場にいた観客全員が演者達にスタンディングオベーションを送っていました。何度もカーテンコールが行われ、「帰るタイミングがわからないね」「まだやるの?」と困り顔でしたが、最後には「劇団四季すごかったね」と会話を楽しむ様子も見られました。

観劇の後は、宿泊先の定山溪万世閣ホテルミリオーネへ向かいました。豪華で美味しい夕食と温泉で心と身体を癒し、研修旅行1日目を終えました。

2日目は朝から曇天で一日の天気が不安でしたが、大倉山ジャン

J A 女性部 1泊2日研修旅行

とき：6月6～7日
ところ：美瑛・旭川方面

6月6日から1泊2日の日程で、J A 女性部（西山 幸子部長）の研修旅行が行われ、同会員18名が参加しました。

富良野町を目指して出発し、最初の見学先の日本画家後藤純男美術館には2時間ほど到着しました。大きな桜の絵がある空間に通されて日本画についてのお話を聞きました。石を砕いた染料を使用することや、和紙に描かれるため大きな作品を描くには何枚もの紙をつなぎ合わせなければならぬ事などを教えていただきました。

絵の説明を聞いた後は、一旦レストランへ移動して地物野菜をたっぷり使ったランチプレートを用意いただき、その後、美術鑑賞を楽しみました。

次に、美瑛へと移動し青い池を訪れました。雨の心配がありました。が、無事、きれいな青色の池をバックに記念撮影することができました。時間が少し余ったので、リクエ

プ競技場に到着する頃には青空が広がっていました。ゆったりとしたスピードで上がるリフトに乗り、大倉山の頂上へ行くと、スキージャンプ台越しの札幌という絶景を一望することが出来ました。

北広島クラッセホテルでの昼食後は北海道ポールパークへ向かい、ツアーに参加しました。選手たちが試合中に座るベンチやグラウンド、ファイターズの歴史に触れられる場所をファイターズガールの方に案内していただきました。50分間という長いようで短い時間でしたが、ポールパークの魅力を十分に堪能することができたようで、会員同士での会話に花を咲かせていました。

ツアー終了直後には、ファイターズのマスケットキャラクターである『フレップ・ザ・フォックス』くんと会うことが出来ました。愛くるしい見た目で「かわいいね」と会話をしている様子も見られ、その後は各々で自由に見学や買い物を楽しみました。家族や自分へのお土産を無事に購入できたようで、バスの中では何を購入したのかなどのお話で盛り上がる様子も見られました。

昨年に引き続き無事に研修旅行を開催でき、とても有意義な時間を過ごすことができたようです。



ストにより白ひげの滝も見学し、ダイナミックに落ちる滝の景色にも大満足でした。

この日の最後は、上野ファームを訪れました。ドラマロケ用の庭の監修もされたオーナーさんの造る庭園には、黄色やオレンジ、紫やピンクといった草花と樹木や池が景観を彩っていました。写真を撮ったり、丘に登って景色を楽しんだりして思い思いに庭園散策を楽しみました。売店には、庭を飾る小物やおしゃれな作業衣料のほか、珍しい花の種や苗も販売されており、自宅の庭に花を植えている方達は、「可愛い花だね。大事に育ててみよう」など、買い物を楽しまれる姿も見られました。

宿泊先に到着後は、夕食まで自由時間とし、旭川市街での買い物や散歩をしながら、おのの夕食会場に集まりました。上品なコース料理を堪能しながら、久し振りに顔を合わせた会員同士はお喋りもとまらず、あつという間にお開きの時間となりました。

コロナ禍では感染機会を減らすために控えていた2次会も、今回は参加者全員で開催し、思い通りの活動ができる嬉しさを実感する楽しい夜となりました。

2日目は、皆さんが聞いたことのあるような有名どころを巡りました。



旭川市の高砂酒造に立ち寄ったあと、滝川市に移動して松尾ジンギスカン本店で昼食を食べ、砂川市へ。百貨店などで開催される北海道物産展に何度も出店されているナカヤ菓子店にもうかがい、一番人気のアップルパイやお店オリジナルのスイーツを思う存分購入しました。

有名店を訪れ、つい買い物に夢中になり、この頃には空いていたバスの座席が荷物でいっぱい…。この旅行の最後は、コスメブランドSHIROの本店でリニューアルオープンからまもないみんなの工場を訪れました。その香りが女性に人気のブランドとあって、「この香りが好きだけど、限定の香りも捨て難いな…。どっちにしようか迷う」、「ここでしか買えないみたい！ひとつ買って行こう」と、皆さん自分へのお土産としてお気に入りを購入していました。

全日程を通して天候が不安定でしたが、雨にあたることなく、また、コロナウイルスが感染症5類となり、これまでのように、まずコロナの感染対策！といった制限もなく、自由で心穏やかに研修を満喫することができたのではないのでしょうか。

清水町に着く頃には全員、一人では持ちきれないほど大量のお土産と旅行の思い出を抱えて、今回の研修旅行は終了となりました。



かに座 【全体運】注目度が上がる時。おしゃれをして外出しましょう。あなたしかできないことを優先すると開運。買い物にツキ 【健康運】新しい健康法や健康グッズを試してみよう 【幸運の食べ物】スイカ

しし座 (7/23～8/22) 【全体運】後半から上昇。これまでの頑張りが見えてきます。気を抜かずやり切りましょう。発言は丁寧に 【健康運】野菜たっぷりのメニューが元気の秘訣 (ひけつ) 【幸運の食べ物】インゲン

第2回清水町 畑作レベルアップ 研修会

とき..6月1日
ところ..下佐幌1
伊藤旭さん圃場

6月1日、清水町営農対策協議会農産部会主催で、第2回清水町畑作レベルアップ研修会(現地視察)が下佐幌1伊藤旭さんの圃場で開催され、30名が参加しました。

初めに、伊藤さんから「町内優良農家のてん菜づくり講座」のお話があり、主な輪作体系及び土づくりや移植、施肥、病害虫防除、風害対策のポイントについて説明されました。

次に、清水町役場スマート農業支援員松田 悟さんから「豆類のダイズシストセンチュウとその対策」についてお話があり、大豆や小豆の写真を用いながら分かりやすく説明されました。

研修会終了後は、てん菜の圃場へと移動し、状況を把握しながら、これからの作業の時期やポイントなどを確認していました。



JICA課題別研修 組合員の圃場で 研修を行いました

とき..6月7日、8日
ところ..東松沢
佐々木裕樹さん圃場
熊牛更生
畠山幸博さん圃場

今回、帯広畜産大学谷昌幸教授が携わられている、各国の農業行政の担当者らが集まり約2ヶ月間土壌断面調査、土壌診断(物理性・化学性・生物性)技術および土壌改良技術の共有を目的とした、JICAの事業『2023年度JICA課題別研修「持続的農業生産のための土壌診断と土壌改良技術」コース』に協力・支援したもので、6月7日・8日の両日にわたって、東松沢佐々木裕樹さん圃場、熊牛更生畠山幸博さん圃場で行われました。

このような方法で土壌の断面などを調査し集約した内容が、農研機構が提供している農耕地土壌図の日本土壌インベントリーへ集約され、営農上の重要な情報源としても有効活用されています。



JAそよかぜの会 町内ボランティア訪問 介護老人保健施設みかげ

とき..6月9日
ところ..介護老人保健施設みかげ

JA十勝清水町そよかぜの会(武田 静江会長)は、6月9日に介護老人保健施設みかげのボランティア訪問を行い、会員12名が集いました。

そよかぜの会では、平成26年度より町内の福祉施設を訪問し、窓拭きや車椅子の清掃などを行なっており、コロナ禍のため中止していた時期もありましたが、施設側から快諾をいただき、感染症対策を十分に行い、去年から活動を再開しております。

当日は、屋外で車椅子の清掃と玄関前の掃除を行いました。車椅子の細かい隙間のほこりや食べかすなどを布や綿棒を使ってきれいに拭きとり、最後にタイヤを拭き、室内へと戻しました。

施設の方より、「本日はありがとうございました。是非お願いたしたい。」とお言葉をいただき、ボランティア訪問を終了しました。



JA女性部 フレッシュミズ部会 夏期研修会

とき..6月15日
ところ..JA十勝清水町中会議室

JA十勝清水町女性部フレッシュミズ部会(乾川 佳奈会長)は、6月15日に夏期研修会を開催し、会員10名が参加しました。

当日は、lesoleil時野 春美さんを講師に迎えて『色と骨格を混ぜてスタイルを良く見せる方法』の講座を行いました。

まずは、生まれ持った自分の魅力を引き出すことができるといわれている『パーソナルカラー』についてお話を聞いた後、会員同士で互いに瞳の色や、髪の質感、鎖骨などを見て、どのパターンに分類されるのか確認しました。

講座終了後は、ポリウムたっぷりの中華料理 四川さんのお弁当を食べながら、交流会を行いました。美容や子育て、仕事のことなどをお話しながら楽しい時間を過ごされ、リフレッシュした夏期研修会となりました。





7月15日(土)に
広尾町内にて
8チームのトーナメント戦で
十勝管内JA野球大会が
予定されています。

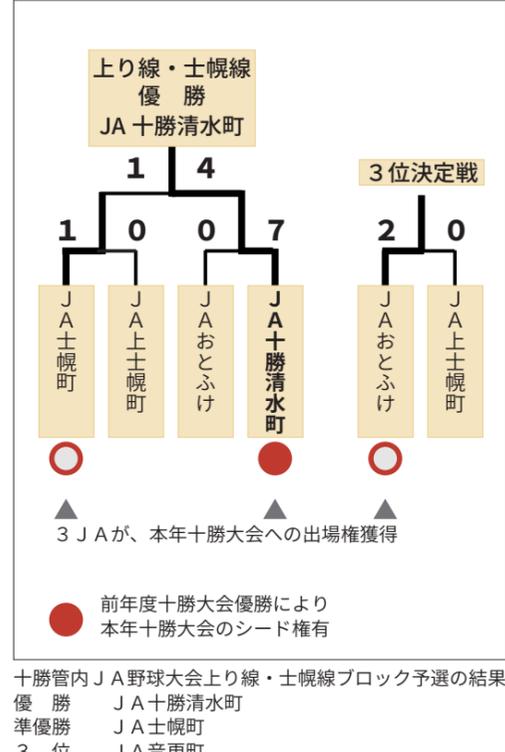
6月11日土幌町内にて、JA全道野球大会の予選となる上り線・土幌線野球大会が4チームのトーナメントで行われ、JA十勝清水町野球部が2試合を勝ち抜き優勝しました。

どちらの試合も先発が完投、守備も安定した中で適時打が出るなどして、2試合連続で勝利となりました。

7月15日の十勝大会に向け、業務にも的確に進化した上で、しっかりとした対戦が出来るよう気を引き締め直して戦いに挑んでまいります。

十勝管内JA野球大会 上り線・土幌線ブロック 予選優勝

とき..6月11日
ところ..土幌町総合運動公園
野球場



清水町蔬菜振興会 アスパラ部会から アスパラガスを寄贈

とき..6月6日
ところ..給食センター

6月6日、清水町蔬菜振興会アスパラ部会が、清水町内の学校給食向けに『とれたんと』アスパラガス20kgを清水町給食センターへ持参・寄贈しました。

当日は、清水町蔬菜振興会アスパラ部会 山本正次 部会長・山本豊広 副部会長・高橋智浩 副部会長が清水町給食センター 佐藤一成 所長へ直接手渡ししました。

山本部会長は、「6月に入って旬の後半の時期となつていますが、子どもたちに町内産の新鮮なアスパラを食べてもらえる機会として寄贈が出来てよかった。」と子どもたちの喜ぶ顔を見ながら話されました。

翌7日にはさっそく清水小・中学校と御影小・中学校の学校給食で「アスパラのごま和え」として味わってもらっています。



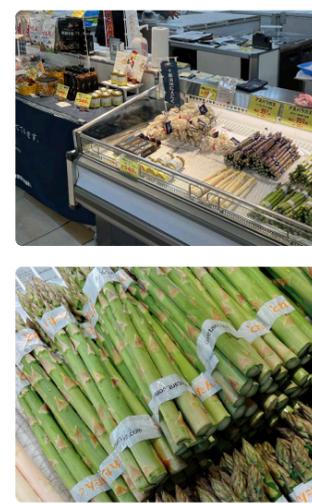
△清水町蔬菜振興会 アスパラ部会 山本正次 部会長 (左下)、山本豊広 副部会長 (中央上)、高橋智浩 副部会長 (左上) から清水町給食センター 佐藤一成 所長 (右下)、作田加奈子 栄養教諭 (右上) へ

東急百貨店さっぽろ店で アスパラ販売会を 開催しました

とき..5月25~31日
ところ..東急百貨店さっぽろ店
地下1階イベントスペース

5月25日から31日の1週間、東急百貨店さっぽろ店地下1階イベントスペースにて、『北海道みちのえき特集』特別企画JA十勝清水町アスパラ販売会が開催され、JA十勝清水町の新鮮な『とれたんと』アスパラガスや『十勝若牛ハンバーグ』、『十勝清水にんにく』、その他の特産品を販売いたしました。

期間内で多くのお客様にお買い求めいただき、JA十勝清水町の魅力を知っていただくことが出来ました。



私たちの『国消国産』 川柳コンテストを 開催

「国消国産」とは、「私たちの『国』で消費する食べものは、できるだけこの『国』で生産する」というJAグループが提起する考え方

JAグループは、「国消国産」について理解していただく事や、日本の食や農業の現場などを知り国産農畜産物の魅力を再発見していただく事を目的に、皆さん一人ひとりが考える国産の農畜産物の魅力や日本農業への想いを表現する「私たちの『国消国産』川柳コンテスト」を、6月15日から9月4日の間で募集します。

応募は、特設ウェブサイト上の川柳コンテストページにある応募フォームや郵便はがきなどで受け付けます。ぜひ応募ください。



詳細は、
二次元バーコードを
読み取って、
ご確認ください。

共栄火災から 一般計部門で表彰状受賞

とき…6月2日
ところ…JA十勝清水町

令和4年度の営業活動において業績拡大に取り組み、一般計部門（火災・賠償責任保険など全ての種目）で共栄火災海上保険株式会社業績に貢献したことから、同社から表彰を受け、6月2日に同社北海道支店帯広支社岡島 広明 支社長から表彰状が手渡されました。

農業経営の規模拡大、6次産業化等により、事業経営上の新たなリスクが発生しています。JA共済は、多様化する事業リスクに対応する各種保障を提案し、組合員の皆様の安心と満足を提供して参ります。



△共栄火災海上保険株式会社 北海道支店 帯広支社 岡島 広明 支社長から表彰状が手渡されました。

JA自動車共済損害調査サービス 事故受付満足度1位受賞

とき…6月6日
ところ…JA十勝清水町

令和4年度のJA自動車共済損害調査サービスへの積極的な取り組みにより、自動車共済新契約件数5,001件以上12,500件未満の部（159JA）で、令和4年度事故受付満足度1位の成績を収めたことから、全国共済農業協同組合連合会経営管理委員会から表彰を受け、6月6日に同会帯広自動車損害調査サービスセンター 田口 哲史 センター長から表彰状が手渡されました。

今後も取り組みを継続し、不慮の事故が発生した際には、迅速かつ丁寧な対応に努め、早期解決にむけたサポート支援を実施いたします。



△全国共済農業協同組合連合会帯広自動車損害調査サービスセンター 田口 哲史 センター長から表彰状が手渡されました。

生産資材課 DCM商品のご紹介

とき…6月上旬から
ところ…JA十勝清水町

季節替わりに伴い、生産資材課の店舗の店頭で取扱うDCM商品の内容が変わりました。

冷感肌着やタレ付きキャップ、パーベキューコンロ、折りたたみチェアなど、これからの季節をより快適にお過ごしいただくために必要な商品を各種ご用意しております。

ぜひ、本所生産資材課へお立ち寄りの際には、商品をご確認ください。



理事会の動き

第3回 6月30日開催

○付議事項

- ・ 行政庁に提出する業務報告書及び連結業務報告書
- ・ 同一人に対する信用の供与等の限度額設定
- ・ 大口の信用供与等の金額水準の設定
- ・ 組合と理事との利益相反取引（豆の買取販売に係る包括承認）
- ・ 組合と理事との利益相反取引（貯金・共済担保包括事前承認）
- ・ 給与規程及び職員就業規則・臨時職員就業規則・臨時従業員就業規則の改正
- ・ 固定資産取得・処分（農産課・経営指導課）
- ・ 令和5年度要員計画

○協議事項

- ・ 地域別懇談会の意見集約
- ・ 令和5年度 小麦コンバイン運行計画
- ・ 令和5年度 小麦共同乾燥調整取扱い及び自主検定要領の制定
- ・ 令和5年度 自家乾燥小麦取扱い要領の制定

○報告事項

- ・ 固定資産処分（堆肥化施設）
- ・ 総体的なリスク管理における取組状況
- ・ 担保評価マニュアルに基づく農地及び家畜の評価
- ・ 債務保証の残高
- ・ マネロンガイドラインとのギャップ分析
- ・ JAバンク基本方針に基づく「体制整備モニタリング報告」
- ・ JAバンク基本方針に基づく「財務モニタリング報告」
- ・ 令和4年度 食用、加工馬鈴しょ
- ・ 共計本精算の取進め
- ・ 令和4年度 令和5年度 令和5年度 農産物生育状況定期調査（6/15現在）
- ・ 乳質状況、生乳出荷
- ・ 株式会社十勝清水すくすくライフ決算状況報告
- ・ 十勝清水バイオマスエネルギー株式会社決算状況報告

十勝清水

職員人事発令について

令和5年6月1日付けで人事発令を行いましたので、次の通りお知らせいたします。

- 農産部 農産課 永原 伸哉 発令 農産部 農産課 調査役 (前職 農産部 農産課 調査役)
- 農産部 農産課 佐藤 駿 発令 農産部 農産課 調査役 (前職 農産部 農産課 係)
- 金融部 信用貯金課 橋本 知恵 発令 金融部 信用貯金課 調査役 (前職 金融部 信用貯金課 係)

お世話になりました

長年にわたりご指導いただきありがとうございました。組合員の皆様の今後の発展とご健勝をお祈りしています。

- 令和5年5月31日付 経済部 生産資材課 三原 楓雅 (試用職員)
- 令和5年6月30日付 畜産部 畜産生産課 調査役 上村 拓也
- 畜産部 畜産生産課 係 佐藤 大地
- 企画室 係 白 佳召
- 金融部 共済課 係 片桐 栞希

人事異動

組合員のみなさん、よろしくお願いたします！



畜産部 畜産生産課 ともだ しんいち 友田 慎一

一般職として採用 令和5年6月1日付 畜産部 畜産生産課 友田 慎一

- ① 昭和57年2月12日
- ② 大阪府
- ③ 帯広畜産大学
- ④ 家族で出かけること
- ⑤ 早く仕事を覚えて組合員の皆さんのお役に立てる様頑張ります。

十勝清水

農作業受託組織 (株) 清水町農業サポートセンター

とき：6月上旬
ところ：各圃場

農作業受託組織の(株)清水町農業サポートセンターは、令和3年の総会において、JAの子会社化が承認され、令和4年度からJAの子会社として運営されています。

(株)清水町農業サポートセンターは、飼料作物(牧草・デントコーン)の収穫、豆類(小豆・大豆)の収穫、耕起や整地、堆肥散布、コーンや牧草の播種、麦かん収穫、融雪材散布、雪割り/除草の作業受託を行っています。

本年度の計画では、牧草収穫が3千2百10haとなっており、圃場と車両の農作業管理システムにより作業の効率化を図り、作業は順調に進んでおります。

このあとも、作業の精度向上を目指し、安全第一に作業に取り組んで参ります。



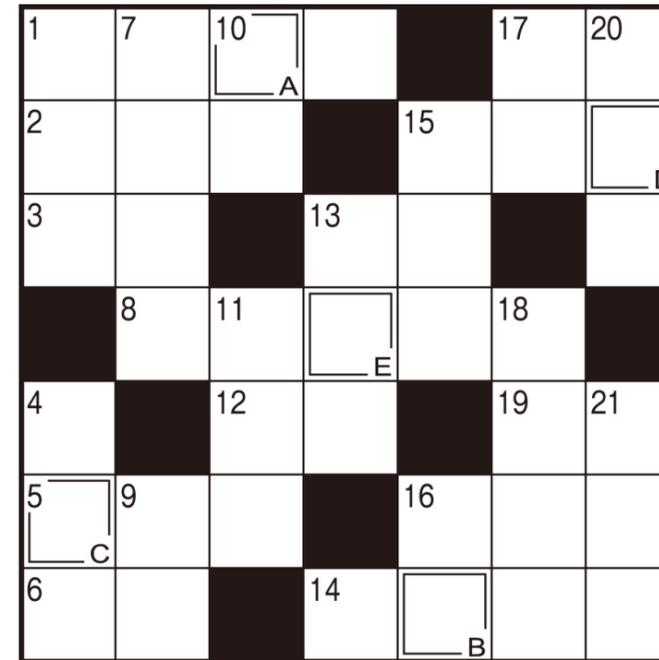
株式会社
清水町農業サポートセンター

TEL
0156-62-5395

FAX
0156-62-5380

《受託作業計画》

		R4 年度実績 面積 (ha)	R5 年度計画 面積 (ha)
飼料作物	牧草	3, 225.85	3, 210.00
	デントコーン	1, 329.08	1, 330.00
畑作物	豆類収穫	71.94	160.00
	耕起整地等	310.35	300.00
	整地	608.78	600.00
糞尿処理	堆肥散布	1, 098.65	1, 120.00
播種		975.34	980.00
その他		499.45	1, 550.00
作業面積合計		8, 119.44	9, 250.00



→ ヨコのカギ

- ① 七夕伝説のヒロイン
- ② 青島幸男氏や石原慎太郎氏が務めました
- ③ 手のひらや足の裏の反対側
- ⑤ 蚊取り線香から立ち上るもの
- ⑥ ——を聞いて十を知る
- ⑧ ルーベともいいます
- ⑫ 兄弟姉妹の息子のこと
- ⑬ チョウが花を巡って吸うもの
- ⑭ テントを張ったりして野外活動を楽しみます
- ⑮ ——タオル、——ソープ、ゴッド——
- ⑯ 一時的に建てるもののこと。——住宅
- ⑰ アブラ、クマ、ミンミンといえ
- ⑲ 地球の衛星です

↓ タテのカギ

- ① 河島英五のヒット曲『酒と泪(なみだ)と——と女』
- ④ 長針、短針、秒針が付いているもの
- ⑦ 元素記号はLi。電池にも使用される金属です
- ⑨ 騎手が騎乗時に持つもの
- ⑩ 手首と肩の間にある関節
- ⑪ 本に挟みます
- ⑬ まだ夜が明けきらない頃のこと
- ⑮ 種から芽が出ること
- ⑯ 虫よけのために寝床の周りにつるします
- ⑰ 定規を当てて引くことも
- ⑱ 高校球児たちが地方大会で——を繰り広げています
- ⑳ トップ・——・ボトム
- ㉑ 駅の券売機で買います

クイズの答えを解答用紙に記入し、ファックスするか直接JAにご持参ください。正解者の中から抽選で5名の方に記念品を差し上げます。ご応募お待ちしております。(締切7月28日)

6月号 (No.369) の答え
A B C D E
「ミズスマシ」



表紙の写真は



芋の花が咲き始めたということで、芋の圃場へ行きました。この日は、種子馬鈴薯採種圃場で防疫検査に備えて採種組合が抜き取りを行っていました。採種圃場は、額縁や品種間の畝間に、害虫を待ち伏せるバンカープランツとして燕麦を播きつけてあります。

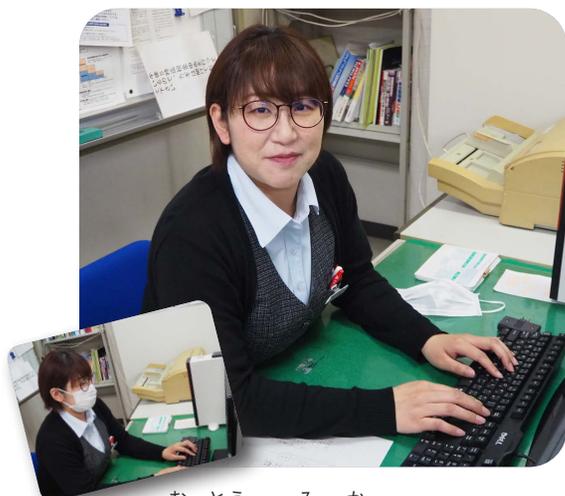
6月号 (No. 369) あたまの体操 当選者発表

当選者は 南高台 野原 章博さん 郷 愛 山本 京子さん
東高台 箕浦 小夏さん 柏 木 田宮 トモ子さん
中羽 帯 佐藤 結友さん の5名です。

おめでとうございます。 十勝 清水



今月の「職員紹介」



むとう みか
武藤 美加 職員

最近の出来事

体が重くなりました…

◆所属部署・担当業務

営農部 経営指導課
清水町農業記帳支援協議会担当

◆趣味・特技

韓国のドラマを見まくる！

◆自分はこんな人です！

面倒くさい事が嫌い・・・

◆上司からの一言（村尾 和延 考査役 より）

武藤職員は平成30年11月にパート職員として清水町農業記帳支援協議会での採用となり、昨年度からは嘱託職員となって業務の幅を広げてくれています。性格も朗らかで、組合員さんの対応にも徐々に慣れてきて、今では積極的に電話や来客対応を行っています。

記帳支援協議会では農業者の決算書作成支援を行っており、武藤職員は主に給与・年末調整関係の事務や、牛の移動登録確認による家畜管理台帳作成事務、組勘取引を整理して決算書の数字を集計するサポートなどを行っています。

今年から消費税インボイス制度が始まり、事務作業においてはこれまでにない大きな変革の年となりますので、協力して支援体制を強化していきましょう。

（来月の「職員紹介」は 太田 善之 職員です。）

十勝
清水

今月のメニュー

JA女性部 料理研究会

3色野菜のごま和え



2月24日にJA女性部 料理研究会が、料理研究会実習を開催しました。「今月のメニュー」として今回を含め4回、活動で作った料理の調理メニューを紹介致します（1/4回目）。

材料（4人分）

ほうれん草	200 g
にんじん	60 g
もやし	60 g
かにかま	4本
A	
しょうゆ	大さじ 1/2
砂糖	小さじ 2
すりごま（白）	大さじ 1

作り方

- ① ほうれん草は茹でて、水気をよく切り、5cm幅にカットする。
- ② 人参は千切りにして、もやしと一緒にさっと湯がく。かにかまは割いておく。
- ③ ボウルにAと①と②、かにかま、すりごまを入れて混ぜ合わせたら完成。

1人分栄養価

エネルギー	タンパク質	脂質	炭水化物	食物繊維	食塩相当量
42 kcal	3.0 g	1.1 g	6.0 g	2.1 g	0.6 g